

原子衝突学会のみなさま,

KEK 量子場計測システム国際拠点(WPI-QUP)は、新しい拠点長のもとで目指すサイエンスおよび研究戦略を刷新しました。量子センサー、量子デバイス、レーザー技術といった先端的アプローチを駆使し、いわゆる New Physics と呼ばれる基礎物理法則の破れの探索、軽い暗黒物質や重力波の検出など、素粒子物理・基礎物理の弱結合測定フロンティアの開拓を目指します。

この新たな研究体制のもと、今回は特に

- 1 反物質の重力実験に向けた水素原子冷却装置のためのレーザー開発
 - 2 TES 検出器の開発と、その極微弱結合による物理現象の探査への応用
 - 3 軽い暗黒物質探索のためのダイヤモンド量子センサーの開発
 - 4 アクシオン暗黒物質探索や重力波検出のための超伝導量子ビットの製作と運用
- の4分野の実験物理学のポスドク研究員を複数名公募いたします。

募集要項はこちら:

<https://www.kek.jp/ja/career/qup25-4j>

応募は以下の AcademicJobsOnline から受け付けています:

<https://academicjobsonline.org/ajo/jobs/31520>

意欲ある皆様のご応募を心よりお待ちしております。

また、関係する研究者の皆様へ広くご周知いただけますと幸いです。

東俊行(WPI-QUP 拠点長)